

添田博士に贈る

して轉運の幣増減に困つて間に合せ
 として居る様であり、これに
 合はせて良からぬ、故に此間
 は惡くも宜くも、何となく
 の密の事は、洋不換紙幣運發の積
 果は通貨の膨脹となり、物價の騰貴
 を來たし、返して總督府の繰出にも無算
 味の増加を來すとすべし、尤も
 之に就て詳數を述べざる可からざる

東の上は會社令に反對するも、法政學界
 他へ傳へて願ひの、十七日

天 皇 御 覽 一 十 七 日

妃殿下御容体

殿下昨晨、今日迄御熱三十九度、
 據百十餘後にて併發の氣管枝加答
 以御熱百十度、未だ全く御安否に

長任命ありたり
 檢察法學博士 平沼 騏一郎
 專任司法省刑事局長 長嶺高等官二等
 司法省参事 博士 文川 藤十二郎
 變檢事法學博士
 任民事局長 長嶺高等官二等 檢察事務官

●土地收用令發布
 十七日總督府令第三號を以て土地收

●今後の注意肝要
 一原因と思ひべきは以上戦時に於
 物品の消費力、甚しく昂進せるが
 の克復と共に漸次平靜に歸り又機
 需要に到れるものはなり元來
 臨は漸次しに於ける新國なるに
 融接せる現象を呈せるは洵に喜ぶ
 事に屬せん事にあらずや何となれば

はざるも抑て實際上一今日までの経過に
顧みれば其が成立に就ては數事又は選
●國政告天子の親政 朝日新聞東京發
派員の岡氏に十五日朝南大門前發列車
にて岡山、鎮海灣、大邱方面に出張せ
り往復約一週間の予定

るの金 方如上の實例を以て之を論ずれば明か
に其存在を承認せざるものたるを疑ふ可
し

の 青木書記官の歸朝 北郷地方へ出張
中なりし山林醫の青木書記官は十九日
歸任すべしと云ふ

時 山根衛生哨長は此後歸任しなり

博士より有益にし

員には希望する博士より有益にして且つ
 實に學問ある御講演を拜聴致し何と雖
 有難い御禮を申上げます、實は自分
 は博士より直接の御講演は受けません
 が、今より十數年前始めて博士の著書
 を讀み、書中博士が英國人の所得税と
 除税せしめて進んで上納するの風が
 是るは、全く其財政の成化に因るもの
 なると思ふ所から見て、博士は
 社會の事情に精通せる活ける經濟學者
 爾來財政家たるを信じ、爾來博士の著
 書及論文等々常に愛讀し、間接の御著
 陶を受けんことに勉めつゝあるもので
 あります、只今の御講演中博士が半島
 にはありません、半島の經營がローヤ
 ーである以上、國に於ける仕事の生産的
 であるに依り、國家は餘けるの金と生活
 に半島經營の實を擧げ得られずして
 じと云ふことになつてののであります
 士のれ言葉に因ると今や内地は資本
 深にして半島に相當の事業さへあれ
 ば半島は幾らにとりて流入し來るべしと
 所は半島はかつては英國でありませ
 併し茲に會て外國の資本家でありませ
 内に一ツの堤があつて内地への資本
 流入を妨害したるが如く、内地の資
 本と半島との間にも一ツの堤があつ
 て、其の流入を妨害して居ります、

は官吏諸君であつて諸君はキツクな体
格に衣食するものなるが故に帳價が二
割方騰貴するのですれば必ず二割方減
降せられたと云ふ事になる。故に官吏
諸君は第一に同盟して事業公債に關す
る間に合せ主義に反對すべき當だが、
之れをせざるの故にドウ云ふ譯か一向
自分には有利なのであります。尤も二
割方減つても金を取らぬよりはましだ
と思はれて居るならば夫れは別問題で
終りに臨み博士に申上げて置きたいの
は併合は諸國人の數が著しく減少した
ものであります。吾々目下は尙減少しつゝ
勢を以て司法省官制改正の民衆
警察局長監獄局長の三局を置き公布
されたり施行する昨昨は官報にて登
載せられたる地方長官會議の席上は
於ける桂首相の訓示演説の大意を
陳述する大臣は茲に所信の大意を
陳述する機會を得たものと欣ぶこと
君帝國と條約外國との交際は益々
條約は既に公布せられ英國との交
は既に親和を了し其他列國として
も漸次其歩武を進めり而して之を
施果に至りては國民に於て此新條約
の功を享受せむるに付此新條約の

五、局の布、召、左に諸路を以て道路規則及
第七府令第五十一號を以て道路規則及
道路修築標準等制定發布されたり其概
要によれば諸路と一、二等三等及外
に區別し一等は幅員四間以上二等は三
間以上三等は二間以上とし三等以下の
諸路は道長官之を決定して總督の認可
を得るものとし各重要なる道路は殆ん
ど一、二等に指定せらる

●交通機關整訓示
別紙記載の如く交通機關整備の規定公布
と同時に總督の名義を以て警務廳監部
道府郡に押し今同着すべし政府の

十、
として全く實際上の必要に因ずる
なればなり則ち此種後は畢竟資金金
澤に基く當然の成行と謂ふを得べ
よに經濟上の妙味は茲に存する也
將來若し資本の需要を起し其數布
より多數の人に落ち去る事もあり
も之が爲めに急激なる變化若くは
を來たさしめや極めて有益に使用
事も必要なり若夫現下の經濟
就て悲觀樂觀の兩說あるが如き
で爾かく簡單に觀察すべからざる
を以て之と見れば悲觀或は樂觀等
意識之を知るもの也

●増設金融組合

の
調
思
依
以
に
認
可
を
以
て
効
力
あ
り
と
す
べ
き
日
は
、
雖
も
南
か
ら
取
扱
さ
る
可
ら
ず
と
言
ふ
に
在
る
が
如
し
結
局
會
議
所
費
格
問
題
は
早
晚
何
等
か
決
定
を
爲
さ
ね
ば
種
々
不
合
合
と
見
え
る
と
い
ふ
云
々

二
候
の
見
解
を
生
ず
る
に
到
り
則
ち
一
は
法
令
の
存
在
な
き
と
理
由
而
し
て
續
審
に
於
け
る
認
可
を
與
へ
ず
限
り
に
止
ま
す
と
唱
へ
、
一
は
歴
史
的
の
事
實
に
重
き
と
無
文
法
の
下
に
立
て
る
組
織
な
り
と
稱
し
既
に
過
去
の
認
可
を
以
て
効
力
あ
り
と
す
べ
き
日
は
、
雖
も
南
か
ら
取
扱
さ
る
可
ら
ず
と
言
ふ
に
在
る
が
如
し
結
局
會
議
所
費
格
問
題
は
早
晚
何
等
か
決
定
を
爲
さ
ね
ば
種
々
不
合
合
と
見
え
る
と
い
ふ
云
々

●議案審議會 十七日午後六時當
會館所樓上にて朝鮮各會總所聯合會
及日鮮大聯合會に提出すべき議案審察
委員會を開く等

十餘名は十七日醫院庶務課長の案内
で病室並に炊事場機關室を參觀し朝鮮
人醫員の説明を聞き醫學講堂に於て奧
本中人体の組織を實物に就き詳細なる
説明を與へ且つ二三の理化學試驗を實
見せしめたり又中央清水の試験井
釜鐵の實驗等には頗る快活なり與へたる
機嫌にて文學の進歩に驚嘆せりと

●團體觀覽團退京 大邱園藝觀覽團一行
營業家二十九名は去十四日入京歸馬
昌郡宮、巴谷公園、景福宮、東亞飯
草工場等を觀覧し十六日朝水原發列車
にて歸邦せり

等と類を異にせ

萬一般の觀察者等と云ふを異にせるの
 點にして、半端經濟と基礎教傳道と
 を深く觀察するを看取せらるる
 博士は隨かに凡庸經濟學者等の注意
 せざるところを深く洞見せられたるも
 ありき
 夫れは俄に博士は御講義の始め預兵
 地盤營に於てスペイン式ロシヤ式佛國
 西式があらむと云ふを仰せられました
 亦朝鮮の田舎を見ると大なる建築物は
 官衙官會等のみにて斯は恰もロシヤの
 村落に於て大なる建築物は寺院官衙官
 會等のみにて仰せられました
 是れは俄に博士は御講義の始め預兵
 地盤營に於てスペイン式ロシヤ式佛國
 西式があらむと云ふを仰せられました
 亦朝鮮の田舎を見ると大なる建築物は
 官衙官會等のみにて斯は恰もロシヤの
 村落に於て大なる建築物は寺院官衙官
 會等のみにて仰せられました

世ありて、曰く南北北、薩州南洋群島
 アフリカ、デヤツ、シヤム、布哇、何
 れの所に於ても排斥と受けるが尚立
 版に生存を續けて居る民族であります
 面はに彼等にも獨り朝鮮半島に於てはモ
 ンハヤ生存が六ヶ缺なくたのであります
 博士も御承知の如く世界の各國民族中
 種々勤勉と儉約との點に於ては清國人に越
 する者はなないのであります。併し今日の朝
 鮮は勤勉と儉約なる清國人の言を換ゆ
 じれば勤勉と儉約なる人間には生存が六
 ケ缺なつて来たのであります。否々勤

諸君本年紀元節の當日侵淫なる
 を本大臣に願はる
 抑も一國の驕驕は其國文化の興
 業の興隆に資するや因より論な
 大皇帝等は深く諄諄を奉獻、諸
 て最上は道を講ずるに意を致す
 如き直接感民指導の職に非ざる
 厚く君を健全なる思想の維持に
 の發達に上り用ひ苟も遺憾なきを
 ざるべからず又聖明の仁慈なる
 を割るべからし施衆救療の實を下
 られたるに於て本大臣等は無告の
 をして凡く尊恩に格せしむる
 する其の法方は將に成るに近
 するに其實行に際しては實に諸君
 臨に待つのに甚だ多くなると
 べし諸君より此意を諒せざせん
 と望む下略

諸國の資本も亦國民の利益に於ては其事情に隨て道路の修築、維持又は修築等凡べて交通機關の整備を期すべき旨訓示せり

●金融緩慢に就て

浜田博士講演の一節
朝鮮經濟協會の招請に依り、濱田博士は母國と殖民地との關係に就き得意の經濟的見地より一場の講演を試みられた。濱田博士所提の如し而して該講演中、本問題に論及し且下の金融緩慢に就て斷案を下せる一節と摘錄せんば曰く

▲一朝一夕に非ず 日本に於ては三三年來稀有の金融緩慢に若し

各官廳に於ては其事情に隨て道路の修築、維持又は修築等凡べて交通機關の整備を期すべき旨訓示せり

濱田博士講演の一節
朝鮮經濟協會の招請に依り、濱田博士は母國と殖民地との關係に就き得意の經濟的見地より一場の講演を試みられた。濱田博士所提の如し而して該講演中、本問題に論及し且下の金融緩慢に就て斷案を下せる一節と摘錄せんば曰く

▲一朝一夕に非ず 日本に於ては三三年來稀有の金融緩慢に若し

所要資金は現に帝國議會の協賛を得、總督府豫算に計上ししなり而して其償還に就ては勿論既に内定し居れ。未だ公表の運びに到らざる由然也。大体に於ては各道に亘たりて其緩急に幾み設置し行く甚なる一

●舊韓國の金貨

銀行の正貨準備に屬せる舊韓國協會金九十四萬三千二百五十圓は三月末整理會計の引繼の際全部日本銀行に渡したる其結果同様に於て何等かのあるべき筈なり云々

●京城式則業章認可

待て
 設置
 が
 ざる
 補
 道
 阪
 全
 國
 商
 業
 振
 興
 大
 會
 の
 議
 に
 附
 する等

朝鮮米及び朝鮮穀買取引額を七月
 量制に改正せんとす、議が大蔵省購買
 易商同業組合及び神戸の朝鮮米商組合
 の懸案となりてる事は豫て本紙にて報
 道せし所なるが右は兩者の協議より大
 阪商會會議所にては近々當地にて開か
 る全國商業聯合大會の議に附する等

漢城銀行の現況

實務
 資本金
 増

實務の漢城銀行は度支廳當局の嚴重なる
 監督に依り極めて平穩に進捗しつゝ
 なる由にて預金の如き著しき増加を
 示めし者其多きに苦み所れりと又貸

銀行券發行額平均高
 三、〇二五、〇〇〇

正實準備銀行平均高
 七、七、一七、〇五七

保障準備發行平均高
 一、二、九五、四四三

武田秀雄(海軍少將) 十五日入京天
 志賀良助(釜山郵便局長) 十六日入
 八木長馬(平壤郵便局長) 關山本へ
 吉田龜代治(歩兵中尉) 岡山口廳へ
 坂田貞信(群山民長) 十七日仁川へ

京城市形交換高

四月 金 高

舍のみならず、こゝろ 茲こゝろ 暫しばしば

最も困難であるのであります。博士も
 已に御意見になりましたが、自分が此
 其地から南山に登つて市中を眺みて
 建築物の減少にして粗末なるに驚
 たので、而して六年後の今日
 在於て、市中を見渡し、一種街
 流る空々たる建築物が出来まして、市
 物に於ては餘り之等空々たる建築
 物に云ふの博士が如何に於て見ら
 たるが如く、阿の官舎官舎、若し
 最も困難であるのであります。博士も
 已に御意見になりましたが、自分が此
 其地から南山に登つて市中を眺みて
 建築物の減少にして粗末なるに驚
 たので、而して六年後の今日
 在於て、市中を見渡し、一種街
 流る空々たる建築物が出来まして、市
 物に於ては餘り之等空々たる建築
 物に云ふの博士が如何に於て見ら
 たるが如く、阿の官舎官舎、若し

多存が出来る様になつたのであります。其例は博士御關係の興業銀行が當地から支店を引越したもので、知ることも出来るのであります。嗚呼政府にして儉約なる清國人、彼等は政府の援助に乏しきや、金融機關を有せず、而かも世界例への國へ行つても立派に生存を續けるものであります。而に而るに朝鮮からは此點勉にして儉約なる清國人と逃げ出すのであります。之を以て見ると我半島は世界中に例のない特殊の

谷子爵の才氣
萬の愚天機に達するや左の通り
を以て陸奥の御沙汰ありたり
陸軍中將二位子爵 谷
叙正二氏密談
山縣公は
日桂君を其の官邸に訪ひ何事
談話に及びたるが會談の内容
より秘密にして知るを得ざるも
要事件の外敏が維新史料編纂並
藥救濟地下賜金の處分に關して
す處かりたりと

遣英艦の消息
遣英艦隊和

城 戦後の紙幣界を脱税せしめ各種の事業
會社盛んに續けり然るに其多くは一
時的の事業船に浮れし物業なり其の
上は謂はば實際の必要に伴はざる泡
沫資本のみなり忽ち事業心の沮喪
となりて資金の停滯を來せしに如ゆ
に一方に在りては府公債の大償還あり
其結果金融上格々需要供給の均衡を失
はるに依る此狀に處せる各銀行業者の
頭腦は割に苦悶すべからざるや

則改正の件は未だ何等の指令なし
同附帶案件の手續料改正其他は土
附にて認可されたり

會 議 所 後 算 會 十六日
時より京城日本人商業會議所に
度量算委員會を開き詳細なる審
びたるが如く十八日午後三時よ
り本會に提出さるべしと

申請書由に迷ふ
商賈資格の爲め
朝鮮内地人商業會議所に
來の懸案にして屢々其費に上り

[illegible]

上仁心者，其德必大。

●仁川民長の入京 岩崎仁川民
長は十七日午、東京へ来り、支那を訪
問する。

▲相埒電報(十七日)
明治町西村支店着

▲	▲
紡大電	國坂城
岡岡岡	岡岡岡
六六五	六四八
四四二	四四二
五六〇	五六〇
六六五	六六五
四四二	四四二
五五一〇	五五一〇
▲	▲
又同株	川直式坂
岡岡岡	岡岡岡
一八一	一八一
六六六	六六六
五九九	五九九
〇〇〇	〇〇〇
二七五	二七五

四〇 四月寄十六圓八十五錢▲止不明▲五月
九〇 寄八十二錢▲止不明▲六月寄九十八錢
七〇 十七圓五錢
十一圓九十七錢▲最高同上
三錢止九十五錢
●十七日續進四五五月出來不申

▲六月寄

油醬口薄
特約川雄高
賣取約川雄高
城京支雄高
店支雄高

純良牛乳
消毒牛乳
岡野牧場
京東四町町
市野六十九番

荳蔻流割烹
津祿
南山町一丁目
電話千五百二番

三龜屋商店
津祿
電話千五百二番

代理店
電話千五百二番

月經をつうお
子宮病を全治す
月經不調
月經痛
月經閉
月經過多
月經過少
月經不準
月經不順
月經不調
月經痛
月經閉
月經過多
月經過少
月經不準
月經不順

世帯道具は何で有り升
上白シメ油
醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間御用命奉願上候
日用卸問屋
京東本町六丁目
電話千五百二番
西崎嘉七本店

先鳳
元造釀
目三町宮川仁
郎三勝見深
番八四二話電
フ號略信電

新荷着
浪平板洋釘各種
多御入用の御方は特に安價に御相談致可候
洋金物商
金物商
佐野彦藏商店
電話千五百二番

酒清等上
元賣發造釀
港川仁
店酒金吉
番四六七話電

水車唐箕製造販賣
土井米吉工場
電話千五百二番

和洋金物商
龍山本町三丁目
電話千五百二番

浅田洋服店
京東本町六丁目
電話千五百二番

酒清等上
元賣發造釀
港川仁
店酒金吉
番四六七話電

新荷着
浪平板洋釘各種
多御入用の御方は特に安價に御相談致可候
洋金物商
金物商
佐野彦藏商店
電話千五百二番

酒清等上
元賣發造釀
港川仁
店酒金吉
番四六七話電

水車唐箕製造販賣
土井米吉工場
電話千五百二番

和洋金物商
龍山本町三丁目
電話千五百二番

M.C.C.
東京
八景園
電話千五百二番

東京
八景園
電話千五百二番

東京
八景園
電話千五百二番

東京
八景園
電話千五百二番

東京
八景園
電話千五百二番

東京
八景園
電話千五百二番

中條運送美江皮店
電話千五百二番

中條運送美江皮店
電話千五百二番

中條運送美江皮店
電話千五百二番

中條運送美江皮店
電話千五百二番

中條運送美江皮店
電話千五百二番

中條運送美江皮店
電話千五百二番

朝鮮 釜山 元山 蔚山 大邱 仁川 光州 全州 咸興 清津 南浦 元山 蔚山 大邱 仁川 光州 全州 咸興 清津 南浦

日本 熊本 大坂 佐世保 嚴島 五島 壱岐 長門 出雲 美濃 尾張 越前 富山 石川 福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 神戶 岡山 廣島 山口 德島 高松 愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 鹿兒島 那霸

貯蓄預金 (利息日歩壹厘二毫)

貯蓄銀行代理

其他日本朝鮮樞要地及諸領浦鹽田爲營取引先行